

茅ヶ崎同盟教会 教会学校だより

いいね奥多摩！ 2007年度夏期学校レポートその1 報告：弓桁あずさ



梅雨の明けていないこの日、日差しではなく自家発電の頭光をさえぎるためか、トレードマークの麦藁帽子をかぶった森本校長が、7時すぎから茅ヶ崎駅でみんなが来るのを待っていた。「かみさんが、全部用意してくれた」という荷物は、なぜかなこちゃん（早坂姉）が運ぶこととなる。電車で行くのは全部で18人。馬杉母娘、中澤母娘、早坂母娘、河西母子、太田父母子、そして安里ちゃん、柏真祈先生と飯田先生、それにバカップル（森本&弓桁）。

相模線車中、本当に楽しく、でも行儀よく、周りの人たちに迷惑を掛けることなく過ごせる。太田空良君は、揺れる車中で見事なハトを折り紙で作り、みんなに配ってくれた。バカップルは創立50周年記念誌委員会の委員勧誘（早坂姉ゲット）ならびにレジュメ作りをし、有意義な時を過ごせたと、自己満足に浸る。乗り換えるごとに、車窓の景色が都会のそれとは異なってきて雄大になってくる。レトロな青梅駅構内に感動し、奥多摩行きに乗り換えると渓谷美が広がってくる。今回は夏期学校に初めて参加の親子が多かったので、その景色に感動し、古里の小



さな、いかにも田舎の駅に降り立つと、その感動は頂点に達していた。途中、トイレ休憩を特にとる必要もなく、次々に来た電車に乗れたので、予定より1時間も前に、奥多摩福音の家に到着する。

1階のラウンジで昼食の弁当を食べていると、関父子プラス悠紀ババちゃん、高橋ファミリーが到着。一気ににぎやかになる。1時に3階の集会室へ。開会礼拝で飯田先生がヨハネ9:35~39より、目の見えなかったものが、肉体の目ばかりでなく心の目も開かれたというお話をしてくださる。部屋割りが発表され、各自荷物を置きに部屋へ。弓桁の部屋は男の子部屋。小3の空良君と小2の光君が2段ベッドに歓声を上げ、上段からソファへ飛び降りたい、というので、まず床へ飛び降りさせ、「おっ、いけそう。」と思ったので、ゴーサインをだした。出来た時のうれしそうな顔といったら、弓桁もやりたくなかったが、やめておいた。

分級の時間。弓桁は中高生が誰も参加していなかったの、成人科へ行く。飯田先生が「福音の家」の歴史を語ってくださり、知らなかったことばかりで、マジ感心する。自己紹介で、河西さんはフランスやドイツでお菓子作りの勉強をし、本も執筆なさっていること、太田パパは産婦人科医で、徳州会病院に勤務なさっていたときに、関和奏ちゃんも、高橋遥奈ちゃんもとりあげていただいたこと、太田ママは戸塚の教会へ通っていらっしやったが、半年ほど前から空良君といっしょに私たちの教会へいらっしやるようになったこと、高橋パパは海上自衛隊に勤務、船の操縦機器に関するお仕事をなさっていて、「インドア派」だから、今回思い切っ





てアウトドアのキャンプに参加し、ドキドキしていること（でも、小学生の時からバスケットをやっていて、インターハイ出場経験もある、って立派な体育会系じゃない！）などを知って、びっくり！私？私は『がばいばあちゃん』ならぬ『ヤバイたいちゃん・ようちゃん』の母ですから、皆様の息子さん、どんなにいたずらしても対応できますよって！夏期学校で出禁がでたのは、先にも後にも洋だけですから。

分級後、小学校高学年のお姉さんたちと河西さん、太田さん、飯田先生を除いて、みんなで下の河原へハマリに行く。太田パパがいらっしゃってよかった！空良君、光君、楽しそうだったね。芽依ちゃん、夏音ちゃん、なんてすばしっこいの。和奏ちゃん、遥奈ちゃん、美希ちゃん、手をつないでくれて、超ウレシイ！女の子と手をつなぐって、こんなにうれしいものなの？保母さんになった気分だよ！高橋ファミリーも楽しそうだったね。とみんなで楽しんでいる時、森本校長と関聖君（ってパパをつかまえて君はないか！）は翌日の河原バーベキューのために、現地の草取りをし、大きな石を取り除き、労働していたんだよ！

河原から帰って、いろいろな人と携帯メールで近況を報告しあい、女性陣はしゃべりまくっているうちに、すぐ夕食。この食事はマジうまいです！ホテルなみです！今年の子供たちは好き嫌いしないでよく食べる。ハンバーグとエビフライと一緒に皿の上に乗るなんて、超豪華です！でもここでなこちゃんが帰宅。翌日央希君（中3）がバレーボールの試合に出かけるので、お弁当をつくらなくちゃいけないもんね。でも入れ替わりに吉見母子が到着。電車で来たので、ゆっくり、思う存分母子のふれあいを楽しみながら来られたということ、よかった！京子さんは本当に毎日忙しい、半端じゃなく忙しい。うんとがんばっちゃう人だから、神さまが息抜きの時間をくださったんだね。私はあなたとゆっくり話がしたかったの！すごくうれしかったよ！

7時からお楽しみタイム。稲津先生から、ご自分がどうやって神様と出会ったか、というお話を聞いた後、ゲーム大会。といっても、今年は子供たちの年齢が低い



ので、競うというより見せるゲーム・・・と言うことで、「2人羽織」にバカップルが挑戦することになった。森本校長に関君が、弓桁に飯田先生が、それぞれ朝ごはんを食べさせる。メニューはパンとバナナとヨーグルト。飯田先生は優しく、特にパンをちぎって口に入れてくださった時には、感動した。私のことより、森本校長の「頭」にパンを食べさせたくて、関君を誘導したのはおもしろかった！「おじいさん、おばあさんゲーム」も盛り上がったが、やはり稲津・森本ペアが最高にウケた。

「スリッパ送りゲーム」や「ポッキーゲーム」で、弓桁はある発見をした。それは、馬杉姉が「天然？」ということだった。「スリッパ送りゲーム」とは、スリッパを隣の人から人へ送っていくゲームであるが、最後の人は、受け取ったスリッパをケンケンで運んで椅子の上にのせなければならない。普通スリッパを履いていない方の足を軸にケンケンしないとのせられないと気付くのであるが、彼女はゴールするまで、気がつかないのであった。「えっ、馬杉さんって天然かも。」と独り言を言ったら、席のむこうに座っていた太田パパが、「うん、そうみたい。」と同意した。それから「おやさいビンゴ」と「おさかなビンゴ」をした。これっていつ用意したの、稲津さん！もしかして心寧ちゃんが生まれるのを病院で待っているときに用意した？「D ゴーヤ」って書いてあるので、「A ゴーヤ」とか「B ゴーヤ」とかあるのかと思っていたら、またまた太田パパが、「これはAのカードと言うことで、ゴーヤとは別です。つまりAのカードの人はみんな同時にビンゴできるんですよ。」と教えてくれた。私は天然というより、アホだ。

それから就寝時刻。夜のデボーションの時を持ったが、私がお祈りして目を開けると、空良君も光君も瑠威君も居なかった。1階で教師会をしていたが、お姉さん達と男の子達は、大騒ぎ。ドタバタドタバタ、汗だくになって走り回っていた。運動会か、ここは。後から聞いたことだが、そこに悠紀ババちゃんも参加していて、和奏ちゃんから「ババちゃん、早くドアを閉めて、寝ようよ。」としかられたという。それにしても、本当に男の子たちは仲良くなった。洋と納宗（瑠威君のお兄ちゃん）は、今では親友というより双子のようだが、その関係の基礎は夏期学校でつくられた。2人で年下の男の子たちを連れまわして蝶々採りをし、いたずらをしま



くっていたのが、今の彼らの基礎なのだ。君たち、第2の洋・納宗になれるよ、きつと。教師会后、吉見さんや太田ママも加わっておしゃべりしていたが、11時過ぎになってもまだ彼らが走り回っていたので、部屋へ戻ることにした。すると私は「村長」になっていて、「村長、今日は夜更かしする。」と言った。「もう、充分夜更かしだよ。」

朝5時過ぎから空良君と瑠威君が起きだした。うそでしょ、もう起きるの？外は霧雨が降っていた。光君はまだ夢の中。2人は2段ベッドの階段を組み合わせて、どうやったらうまく上れるかと「夏休みの自由研究」をしていた。6時半頃から朝のデポーションタイム。聖句を読み、みんなでお祈りをしたが、その頃には晴れてきたので、終わるとすぐ彼らは外へ飛び出した。遊具で遊ぶのである。今朝も4時から、森本校長と関君は河原でバーベキューの準備、テント設営からやっていた。7時半、メロディーを歌いながらのラジオ体操。すぐに朝食。「弓桁さん、今日のお話、長い？」と校長が聞くので、「ええ、任せてください！」

9時から日曜礼拝。お話は弓桁で、ナルドの香油の話。私はこの聖書箇所準備をしている時、どうしてもナルドの香油の香りを嗅ぎたくなった。マリヤはイエス様の足に300gのナルドの香油を注ぎ、それを彼女の髪の毛でぬぐったと



いう。まさに絵画のように私の頭にその光景が浮かび、それとともに嗅覚も働かせるようになったのである。洋の友達のお母様でアロママッサージをなさっている方がいらっしゃるの、早速伺ってみたところ、彼女もとても興味がわいてきたと言って、私のために東京から購入してくれてきたのである。ついでに

乳香（フランキンセンス）と没薬（ミルダ）も買ってきてくださったので、私はみんなにこれらの精油の香りを楽しんでもらえたのである（私は正直、あまりにもナルドの香りがスパイシーでお線香臭かったので、少々がっかりしたのだが）。



短時間で分級を済ませ、思い出の T シャツ作りに。毎年大

木姉が色々な秘密兵器を持ってきてくださり、指導して下さるので、ステキな T シャツが出来上がるのだが、今年はいらっしゃらないので、一応私が責任者になった。「えっ、それは遠慮する！」って、森本校長、弓桁がお菓子作りや裁縫関係をやろうとすると、いつも決まって反対する。大丈夫だよ、今年は「テプラ」のアイロンテープの使い方をしっかり予習してきたから。柏真祈ちゃんがいるじゃない、彼女はなんでも出来るから、私はアイロンがけ専門になるよ！大人も子供も大喜びで「世界に 1 つだけの」T シャツをつかった。

「村長、早く河原へ行こうよう。」スリル満点の 10 分ドライブで、現地へ到着。早速バーベキュー、いやソバキュー（焼肉は一切なく、焼きそばがメインなので、なこちゃんが命名）作りに。悠紀ババちゃんがなんとも豪快にアバウトに材料を放り込むので、どうなるかと思ったが、河西さんが味付けをしたので、超うまい焼きそばができた。男の子たちはびしょびしょ。太田パパが川遊びを思う存分させてくれ、大喜びだったが、いったいどうやって帰るんじゃ！この場所は蝶道になっているらしく、毎年、エメラルドグリーンに羽を光らせるカラスアゲハが優雅に飛翔している。和奏ちゃんが前日から「光る蝶々」を見たがっていたので、観



察できてよかった！それにしても、高橋パパ、歩き方変じゃない？聞けば 1 週間前にブートキャンプに入隊して、その筋肉痛が悠哉ちゃんを抱っこしている間に発症して、こうなってしまったとか。

男の子たちは帰るや否やシャワーを浴びて着替えるが、すぐに「ねえ、下の川へ行

こう！」って、もう着替えがないだろ！みんなでサッカーゲームをやって紛らわすが、しばらくするともう限界。太田パパを連れて下の河原へ。おかげでスイカを食べそこなったね。いいよ、弓桁が代わりに食べておくから。

スイカを食べて、私は吉見さんと帰宅する。茅ヶ崎までずっとしゃべりっぱなし。途中、加藤ちぐさから「わあい、岩木山優勝、ヤッター！」という、緊急でもなんでもないメールが入り、吉見さんが爆笑した。

いいね奥多摩！ 2007年度夏期学校レポートその2 報告：川島正子



私は2日目午後からの参加となりました。青梅駅で30分位待ちましたが、それまではすべてスムーズに乗り換えて、青梅から古里までの緑の杉の中を走る電車「東京でもこんなところがあるんだね」と、うしろの席の青年たちが珍しそうに写真を撮り続けていました。なつかしい奥多摩福音の家、いつ来てもやさしく迎えてくれます。今年は入ってくると

丁度、大通さん、永山さんにばったりお会いして、出迎えていただきました。

間もなくスイカ・タイム、例年ここのは甘くて美味。春音ちゃんが「14切れ食べた」といいながら、更に記録を更新していました。食べ終わって庭の遊具でみんなで遊びました。私は「部屋別だしもの」の練習で、お姉さん組の部屋へ。



安里,祝,春音ちゃんはもうすでに,せりふを暗記していました。脚本が上手に出来ていて,劇中にクイズがあって,それを見ている人にも当ててもらおうというとても込んだ芝居です。「ふーんなるほど」クイズにもさすがお姉さん組。真祈先生も脚本作りに加わって下さったことでしょう,ありがとう。夕食後,キャン

プファイアー,亜紀先生の証しは心に残るものでした。亜紀先生といえば“ダンス”。それを通してのつらい経験,そして歩けなくなる程の腰痛,でもその中で“Purpose Driven Life(目的ある人生)”という本との出会いを通して信仰も更に強められ,試練もまた神さまからの恵みと思えたこと,そして神さまのことをたくさんの人に知らせたいというお証しに感謝いたしました。

まだ明るいうちの花火でしたが,みんな各々楽しくたくさん花火をしました。その後,高橋さんの車,稲津さんの車で1泊の方たちが帰られました。それまで保っていてくれた雨が,みんなが車に乗った途端,降り始めました。光くんもわかかなちゃんも元気に楽しくすごせてよかったですね。

3階のホールで部屋別出し物とビンゴ大会です。最初に男組による聖書クイズでアブラハム,ヨシュア,ナーマンなど聖書の人物が出ました。次は親子組でめいちゃんが出題です。始めと終わりは夏音ちゃん,みきちゃんも声をそろえて決めてくれました。問題も楽しく良い頭の体操,さすが子どもたちの回転の速さ,“ $1 + 2 = 5$ ・・・さて何がエル?” 答え=まちがえる。

最後はお姉さん組のクイズ入り劇でした。リハーサルもナレーターの太田お父さんに入っていていただいてしたり,小道具もいろいろなところから借りてきたりしたので,なかなかよかったです。はじめ正解者が出なかったけれど,さすが今度はお母さん組ががんばりました。

最後はビンゴ大会です。大木先生が用意して下さったプレゼントを屋台みたいに一列にぶらさげて夜店みたいで楽しかったです。どれにしようかとみんなワクワクでした。全員がプレゼントを手にして終わりました。前日,夜遅くまで起き





ていたせいか、みんな静かに就寝でした。各お部屋毎のデボーション、お祈り、朝食、閉会礼拝と続きます。

3日目、ヨハネ 15 章 1-10 より「キリストの枝として」3 回目のメッセージです。枝が幹から離れては何もできません。イエスはぶどうの木、幹です。私たちがつながっていると御霊の実を結ぶことができます。

みことばをいつも心にたくわえ、神さまに祈り、イエスさまからはなれないでいましょうというお話でした。昼食後、永山さんにみんなで「ありがとう」をいいました。永山さんから特に子どもたちへの質問で「何がおいしかった?」、「ぜんぶ」でした。

そして帰りの準備をし、記念写真を撮って古里へ。夏音ちゃん、みきちゃん、そらくん、るいくん、めいちゃん、安里ちゃん、祝ちゃん、春音ちゃん、重いリュックを背負って古里へ。電車もほとんど座れて無事、茅ヶ崎駅へ到着。お迎えのお父さん、お母さん、ニコニコしたお顔を見てみんなとってもうれしそうでした。今年もたくさんの方々のお祈りに支えられ、守られ無事に夏期学校が終えられ、心から神さまに感謝いたしました。

編集後記 (Aug.1st.2007, Updated)



2007年7月21～23日、奥多摩福音の家で行われた夏期学校の思い出レポートです。本年度は前半を弓桁あずさ姉、後半を川島正子姉が担当しました。あっという間の3日間でしたが、このレポートを通して楽しかったことがよみがえってきそうです。じっくりとお楽しみ下さい。(森本 記)